

共立印刷株式会社

(コード番号 7838)

平成18年3月期中間決算説明資料

平成17年11月

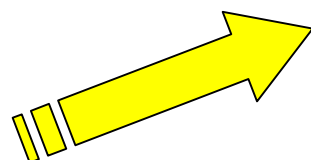
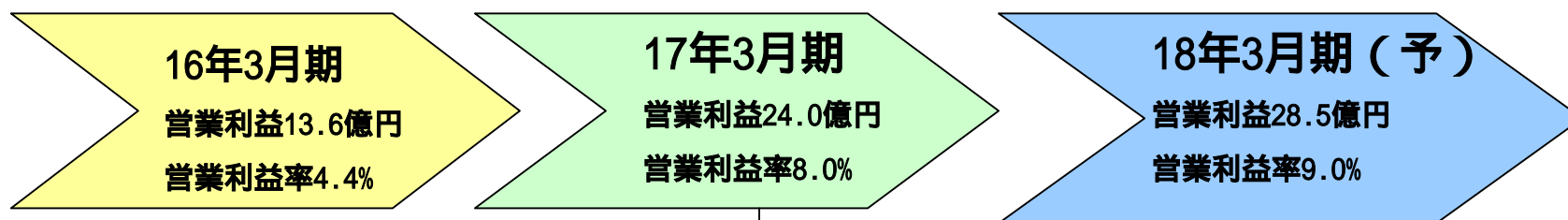
KYORITSU PRINTING

18年3月期のトピックス

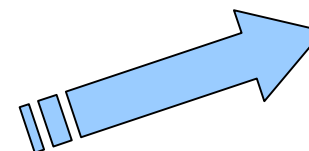
収益向上プロジェクト開始

製・販一体体制の確立

更なる飛躍へ



JASDAQ上場

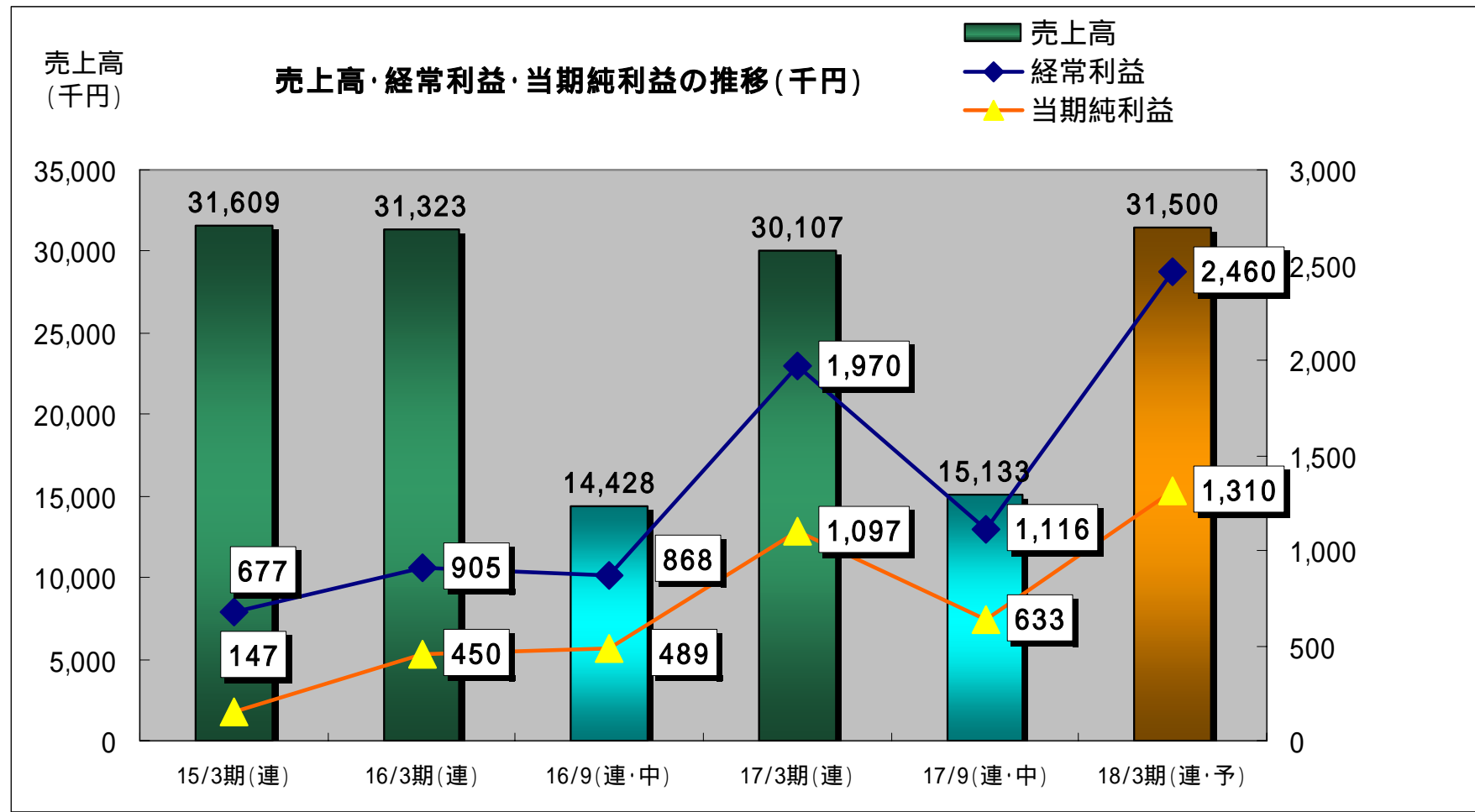


- ・IT関連売上高減少に伴う体制の見直し
- ・原価計算を活用した収益改善活動の開始
- ・輸転機22台体制

- ・固定費削減効果
- ・営業・生産・管理が一体となった内製化促進による利益改善
- ・品質保証プロジェクト効果
- ・輸転機25台体制

- ・工場稼働プロジェクト
- ・輸転機25台の稼働率向上による増益効果
- ・定期借地権契約の締結さらなる、設備充実を目的とした土地の確保 (印刷・製本:約11600坪) (今期3台増設予定)

当社の業績推移



営業利益28億5千万円を目標とした

全社ベースの取り組みによる3大プロジェクト

◆全社収益・稼働率向上プロジェクト

- ◆個別原価計算の活用による
 - 個別受注利益管理の徹底
 - 製造工程原価管理の徹底
- ◆製・販一体の内製化を徹底する受注活動への変更

◆全社品質保証プロジェクト

- ◆管理機能、検証機能、予防・防止機能の徹底による仕損費の削減

◆工場プロジェクトZ

- ◆自家発電
- ◆インキ・消耗品のリユース
- ◆その他印刷技術を駆使した経費節減

営業利益28.5億円を目指して
営業利益率9.0%を目指して

(単位:百万円)

損益計算書

	16/3月期		17/3月期		18/3月期(予)		前年対比	16/9月(中間)		17/9月(中間)		前年対比
売上高	31,323	100.0%	30,107	100.0%	31,500	100.0%	4.6%	14,428	100.0%	15,133	100.0%	4.9%
売上総利益	5,030	16.1%	5,703	18.9%	6,191	19.7%	8.6%	2,708	18.8%	2,988	19.7%	10.3%
販管費	3,661	11.7%	3,301	11.0%	3,341	10.6%	1.2%	1,621	11.3%	1,668	11.0%	2.9%
営業利益	1,368	4.4%	2,401	8.0%	2,850	9.0%	18.7%	1,086	7.5%	1,320	8.7%	21.5%
経常利益	905	2.9%	1,970	6.5%	2,460	7.8%	24.9%	868	6.0%	1,116	7.4%	28.4%
当期純利益	450	1.4%	1,097	3.6%	1,310	4.2%	19.4%	489	3.4%	633	4.2%	29.4%

キャッシュフロー計算書

営業CF	241	-	1,950	-	3,307	-	69.6%	252	-	1,626	-	545.2%
投資CF	265	-	241	-	1,180	-	389.6%	76	-	251	-	230.3%
財務CF	2,076	-	2,023	-	2,348	-	16.1%	872	-	294	-	-66.3%
期首現金等残	4,453	-	6,023	-	5,709	-	-5.2%	6,023	-	5,709	-	-5.2%
期末現金等残	6,023	-	5,709	-	5,487	-	-3.9%	5,327	-	6,790	-	27.5%

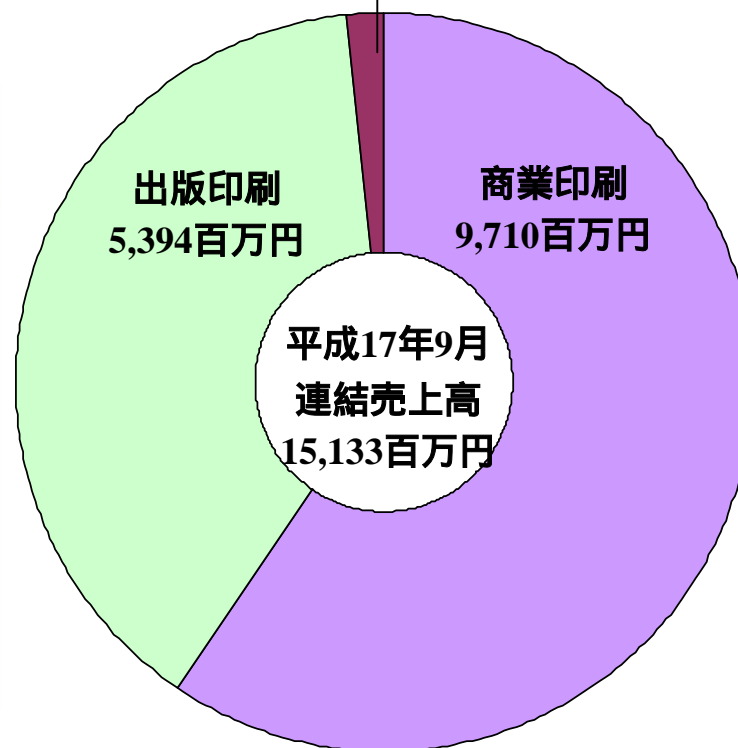
総資産利益率の改善 有利子負債の削減

(単位:百万円)

	16/3期		17/3期		17/9(中間)	
流動資産	14,786	46.7%	15,451	49.2%	14,902	48.5%
固定資産	16,871	53.3%	15,975	50.8%	15,855	51.5%
総資産	31,658	100.0%	31,426	100.0%	30,757	100.0%
流動負債	15,539	49.1%	14,660	46.7%	13,575	44.1%
固定負債	12,720	40.2%	11,789	37.5%	10,289	33.5%
負債合計	28,259	89.3%	26,450	84.2%	23,864	77.6%
株主資本	3,398	10.7%	4,976	15.8%	6,892	22.4%
有利子負債	15,114	47.7%	13,423	42.7%	12,325	40.1%
株主資本当期純利益率	14.3%		26.2%		-	
総資産当期純利益率	1.5%		3.5%		-	

主要生産品目

その他
28百万円



出版印刷
書籍、週刊及び月刊雑誌、定期刊行物
住宅、求人、車、広告など情報誌

商業印刷
折込チラシ、通販カタログ、
各種パンフレット、POPや店舗装飾品

製品種類別売上高

(単位:百万円)

	17年9月	構成比	16年9月	構成比	前年比
商業印刷	9,710	64.2%	8,549	59.3%	13.6%
出版印刷	5,394	35.6	5,865	40.6	-8.0
その他	28	0.2	14	0.1	104.1
合計	15,133	100.0	14,428	100.0	4.9

1. 売上高前年対比7.0億円増(4.9%増)

当社グループはB判系列11台、A判系列14台のバランスの良い印刷設備を保有しており、さらに隣接地には共立製本も有ります。

印刷から製本まで短時間での一貫生産体制を実現しており、製本を伴うA判系列印刷物の受注が特に増加しています。

●商業印刷:前年対比11.6億円増(13.6%増)

➤B判系列であるチラシ、A判系列である通販カタログ・携帯電話取扱説明書等当社の生産設備にマッチした効率的な営業活動による増加

●出版印刷:前年対比4.7億円減(8.0%減)

➤情報出版誌(雇用情報誌、住宅情報誌、中古車情報誌、タウン誌等)のフリーペーパー化による増加 4.9億円

➤従来の市販情報雑誌等の減少 6.5億円

➤用紙について顧客よりの無償支給紙へと変更した事による売上高減少額 3.1億円

2. 売上原価・販売管理費について

当社グループは生産体制の充実・拡充を通じた内製化の促進により売上増加に伴う外注加工費の増加を最小限とする体制を推し進めております。

その結果、

・売上高前年対比	7.0億円増(4.9%増)
・売上原価前年対比	4.2億円増(3.6%増)
・販売費及び一般管理費前年比	0.5億円増(2.8%増)
・営業利益前年比	2.3億円増(21.5%増)

製・販一体化による生産能力のフル稼働を目指し、利益の最大化を図る

【活動戦略】

1～2ヶ月先の受注状況と生産予定を営業と製造で情報共有し、工場稼働率のアップを図る目的で、需要と供給の見通しを行い、受注不足による操業度の低下、過大受注による利益率の低下を防ぎ、利益の最大化を目指す。

【プロジェクトの目的】

生産能力のフル稼働化

- ・受注の過不足を常に念頭においた営業戦略の展開
- ・個別受注原価を基にした、内製化・外製化の決定
- ・市況及び受注状況を基にした、設備投資計画

利益の最大化

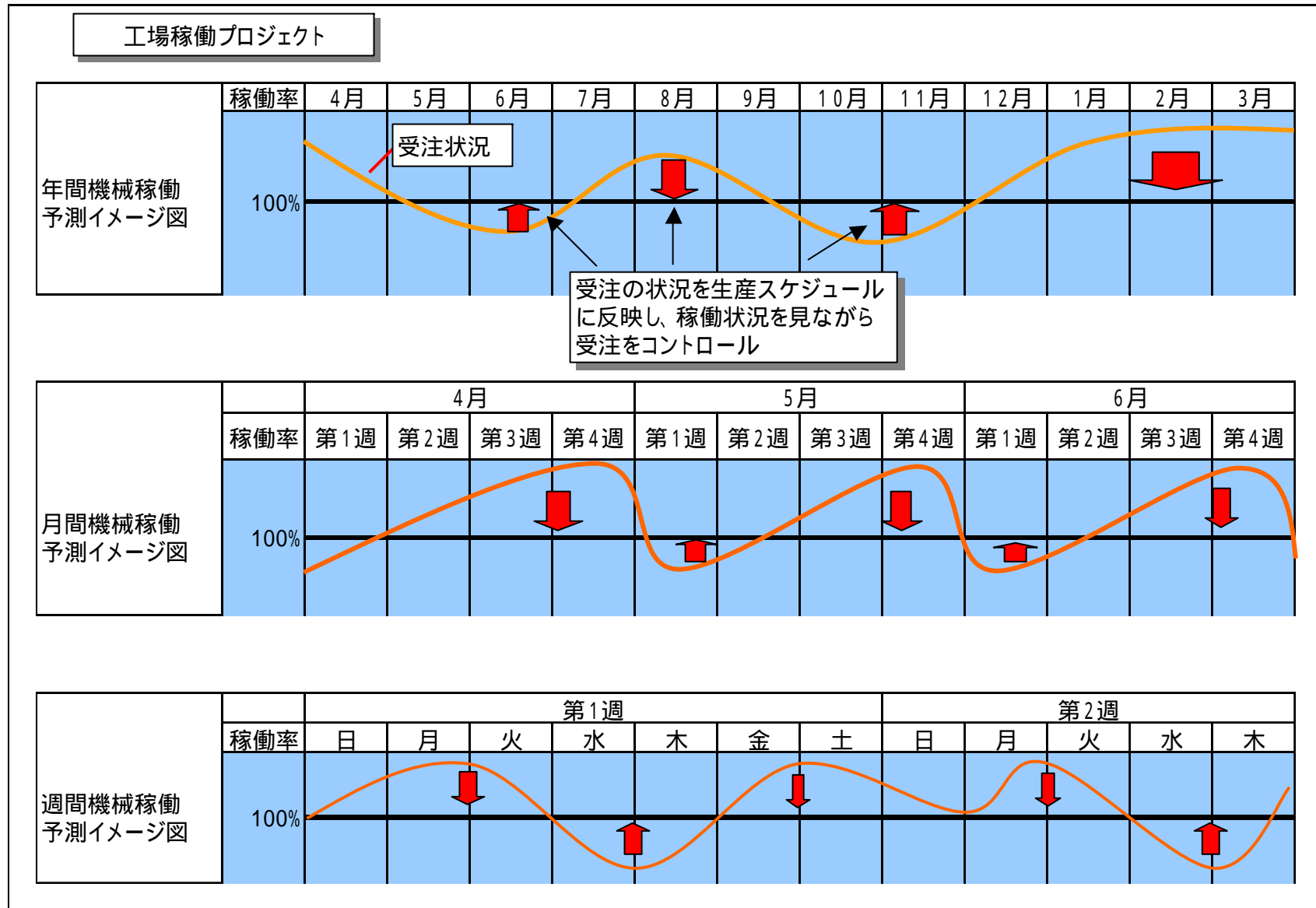
- ・営業活動先の選定
- ・個別受注原価を基にした、内製化・外製化の決定
- ・市況及び受注状況を基にした、設備投資計画



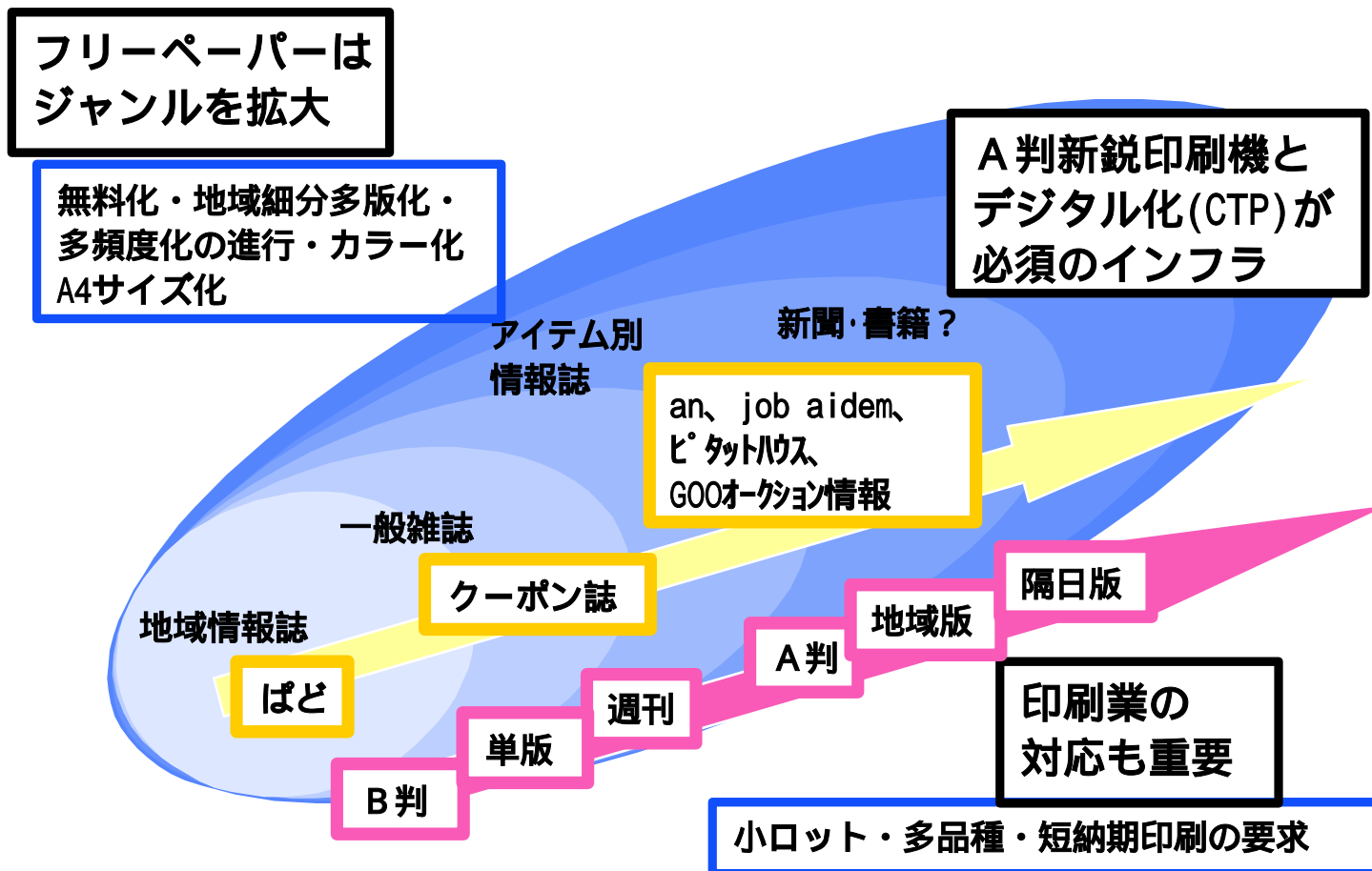
経営戦力と営業戦略の共有

- ・ビッククライアント依存型から広く主要クライアントの創造を行う。
- ・印刷・製本それぞれの生産機能を最大化できる受注の創造からの利益獲得

工場稼働プロジェクト2



フリーペーパー化の大きな流れが、印刷会社にも大きな影響を！



営業戦略

- ◆顧客ニーズを吸収し、生産設備とのマッチングを図り、利益最大化を追求

生産戦略

- ◆小ロット、多品種、短納期、高品質、低コストの生産を可能にする生産体制の構築

共立印刷(株):

- ◆埼玉県本庄・児玉エリアに印刷工場を配置し輪転機25台を集約、生産の集中化
- ◆市場ニーズに沿った利益最大化を実現する生産体制の整備
- ◆全国展開のネットワークを利用した提携印刷会社への分散化による短納期化対応
- ◆デジタル化に対応した生産体制の構築による短納期、高品質、低コストの実現
- ◆デジタル化に対応した情報システムインフラの拡充

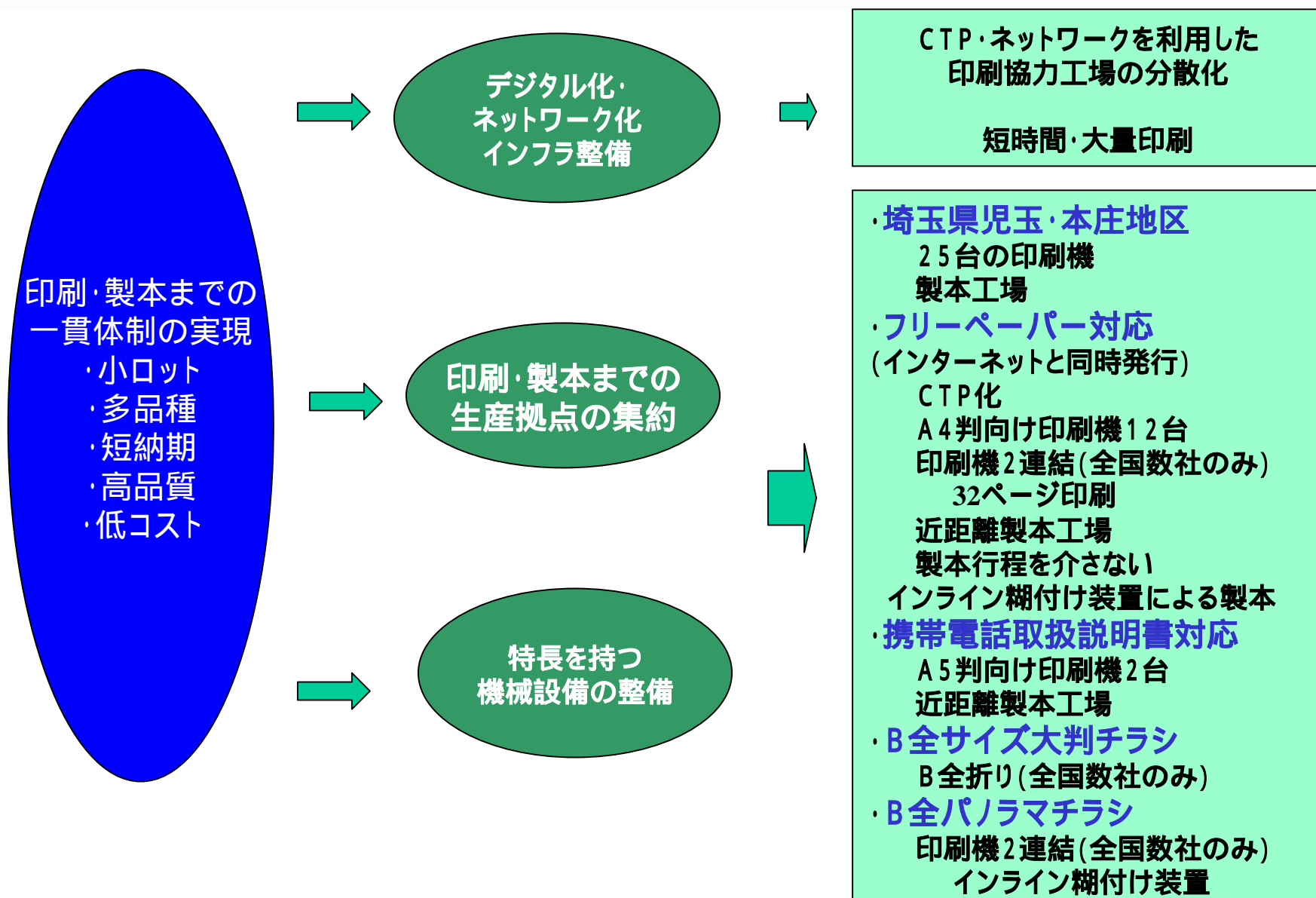
(株)インフォビジョン:

- ◆印刷前工程(プリプレス)のデジタル化による短納期、高品質、低コストの実現

共立製本(株):

- ◆印刷工場のある児玉エリアに製本工場を配置し生産ラインの集約化による、印刷から製本までの一貫した生産体制を整備し、短納期、低コストの実現

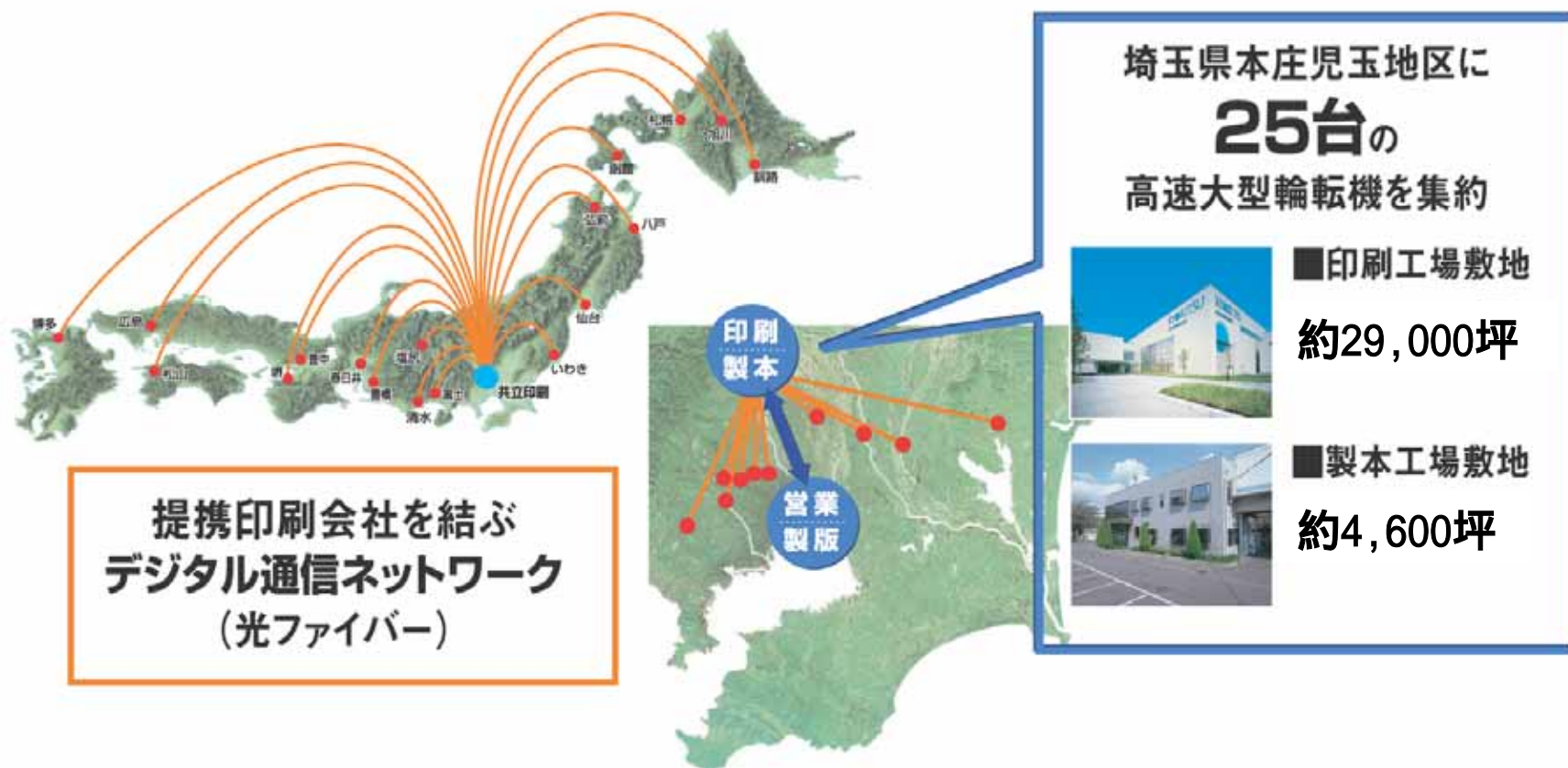
差別化戦略(営業・生産戦略具体例)



集中と分散

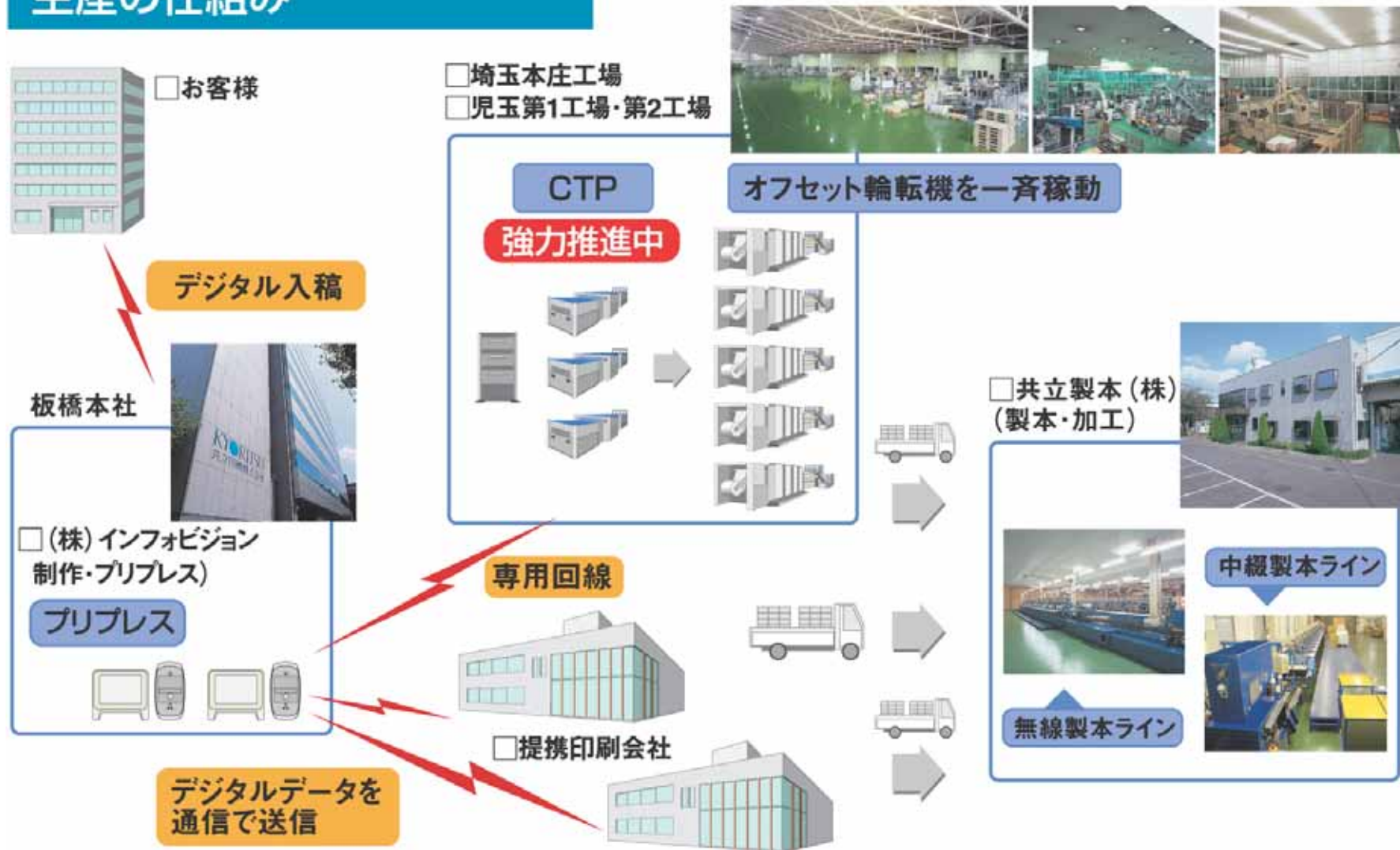
生産設備の集中と分散

- 自社印刷・製本工場を首都圏（埼玉県本庄児玉地区）に集約。
- 提携印刷会社とデジタルネットワークを結び、強力な生産体制を構築。



「スピード」による価値の創造

生産の仕組み



平成18年3月期の主要な取組

- ◆前期設置印刷機のフル稼働による収益貢献
- ◆印刷機 3台の新設(来期への布石)
- ◆収益向上プロジェクトの継続推進
- ◆品質保証プロジェクトの継続推進
- ◆CTP比率向上への取組

生産体制のさらなる強化の取組

当社の取組

- ◆新規工場でA判をさらに増強
- ◆顧客と協力しCTP化をさらに推進

効果

- ◆外注分の内製化で利益率改善
- ◆A判需要を取り込み増収へ

・新規工場用地の確保
-隣接地、賃借
-最大14台分のスペースを確保
-製本工場用地も確保

埼玉本庄工場
A判印刷機 8台(前期3台新設)
B判印刷機10台

児玉第一工場
A判印刷機5台

児玉第二工場
A判印刷機1台
B判印刷機1台

インフォビジョン
CTP化の拠点

共立製本
製本技術・能力の
強化

18年3月期の業績予想

1株当たり情報

	16/3期	17/3月期	18/3月期(予)
一株当たり純資産	103.99	142.92	202.34
一株当たり純利益	13.79	32.67	34.31
一株当たり配当額	1.25	5.00	10.00
配当性向	9.1%	15.3%	29.1%

公募増資により350万株発行した場合を前提としています。

当社は平成15年8月20日付で1株を10株に、平成16年4月30日付で普通株式1株を2株に、また、平成17年5月20日付で1株を2株分割しております。

そこで、株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たりの指標の推移を計算しております。

(参考) 分割前の状況

	16/3期	17/3月期	18/3月期(予)
一株当たり純資産	415.99	285.85	202.34
一株当たり純利益	55.17	65.34	34.31
一株当たり配当額	5.00	10.00	10.00
配当性向	9.1%	15.3%	29.1%

営業利益4億円の増加要因

共立印刷

- ・17年3月期導入A判印刷機3台の内製化による増益効果 3.1億円
- ・CTP化促進による原価削減効果(インフォビジョン) 0.4億円

共立製本

- ・製本設備増強による内製化による増益効果 1.0億円

グループ合計	4.5億円
---------------	--------------

21世紀はスピード時代！

共立印刷は「集中」と「分散」による「スピード」を武器に、
時代の変化に迅速に対応する
印刷メディアにおける
高い専門性と創造性豊かな
企業を目指します。